

## 帝塚山学院中学校高等学校の生徒が、掲示物とアナウンスで呼びかけ 難波駅で「シトラスリボンプロジェクト」の活動を実施

南海電気鉄道株式会社（社長：遠北 光彦）と帝塚山学院中学校高等学校（校長：瀧山 恵）は、2021年3月22日（月）から難波駅構内で「シトラスリボンプロジェクト」の活動を行います。

同プロジェクトの「新型コロナウイルス感染症の感染が確認された方々、暮らしを守り、支えてくれる方々（医療従事者・エッセンシャルワーカーなど）が、それぞれの暮らしの場で『ただいま』『おかえり』と言いつづけるまちであるように」という思いに賛同し、この活動をより多くの方に周知・共有することを目的として、同校の自治会・生徒会に所属する有志による制作物の掲示やアナウンスの自動放送を行います。詳細は以下のとおり。

### 1. 制作物の掲示

同校の自治会・生徒会有志が制作した「シトラスリボンプロジェクト」を紹介・周知する制作物を掲示します。

#### (1) 日時

2021年3月22日（月）16時頃から約2カ月間

#### (2) 場所

難波駅2階 駅長室横 掲示コーナー（改札内）



自治会・生徒会有志と社員の打合せ風景▶

### 2. 駅構内の自動放送

同校の自治会・生徒会有志による「シトラスリボンプロジェクト」を紹介・周知するアナウンスを自動放送します。

#### (1) 日時

2021年3月22日（月）16時頃から約2カ月間

※鉄道の運行に関する内容を優先して放送するため、放送されない時間帯があります。

#### (2) 場所

難波駅ホームおよびコンコース

#### <参考：シトラスリボンプロジェクトとは>

愛媛県の有志が始めたプロジェクトで、コロナ禍で生まれた差別や偏見に対し、地域・家庭・学校（もしくは職場）を表す3つの輪から成るシトラス色のリボンを身につけて、みんなが心から暮らしやすいまちを目指そうという活動。

帝塚山学院中学校高等学校では、2020年11月からこのプロジェクトに参加し、これまで大阪府内の病院や薬局、老人ホーム、スーパーなど約700カ所に、手作りのシトラスリボンを贈っています。



南海グループと帝塚山学院中学校高等学校では、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGsの目標アイコン」を明示しています。今回ご案内の取組みは、3番・11番・17番に繋がるものです。

